

総合型クラブがある町の「わがまち自慢！」

私達の宝物～神々に与えられし恵まれた自然～

北海道標津町（標津スポーツクラブ「すぽっと」）

□■エコ・ツーリズムでまちおこし

標津町は、日本有数の鮭の水揚げを誇る海、世界遺産に登録された知床の山々、人口の3倍の乳牛を有する肥沃の大平原、国内に冠たる秋鮭を育む大小7本の河川、そして豊穡のオホーツク海を有し「リトル北海道」と称される自然豊かな町です。洋上24km先には、近くて遠い北方領土の国後島が大きな姿を見せています。

豊かな自然資源を観光・教育資源へと特化させたエコ・ツーリズム事業で、地域振興に大きな成果が現れています。

全国に先駆けて水産物の水揚げから流通に至るまで徹底した衛生管理を行う標津町地域HACCP（ハサップ）システムを確立した漁業と、資源循環に努めている酪農による恵まれた資源をベースに、①全国初の河川でのサーモンフィッシングやイクラづくり、②ファームステイ、③食体験ツアー、④20校以上に及ぶ修学旅行生の受け入れ、⑤健康づくりと絡めたヘルスツーリズムなど、年間約10,000人にも及ぶ交流人口が生まれ、町の新しい産業として脚光を浴びています。さらに今年度は、前浜の侵食・災害防止と海洋性レクリエーションの場となる「海の公園」もオープンし、交流と経済の活性化や住民の元気づくりに一層の拍車がかかりそうです。



早朝の秋鮭漁とエコ・ツーリズム

□■クラブづくりに失敗

大人から子どもまでスポーツが盛んで地域づくりや教育に熱心な、しかも住民の自治意識や連帯感が強く各種施設も整っている第2集落地区を対象に、平成14～15年度、toto助成金を活用して、クラブづくりにチャレンジしました。

しかし、住民の合意を得ることができず失敗。その理由は、現状の活動で満足しておりクラブづくりに関心を示せず、苦勞して現状を打破しようとならない（都会と違い、思うが俣に施設も使える。しかも無料）、専門的指導者が近くにいない、キーパーソンを発掘できない、などのことから苦渋の選択としてクラブづくりを断念しました。

□■再チャレンジ！！ スポーツの「生活」化からスポーツの「文化」化を目指して

既存組織の体育協会やスポーツ少年団と別の組織にしようという方向性のもと、普段あまりスポーツをしない人でも幼児から高齢者まで運動・スポーツのきっかけづくりと住民のふれあいづくりになるクラブを目指すことになりました。また、出入りがしやすく種目や地域の垣根がなく、みんなで楽しめるアットホームな身の丈にあったクラブ運営を目標としました。



ヨーガ教室



ウィンタースポーツも盛んな地域

子どもの体力向上事業の展開などを含め「町全体スポーツジム構想」の行政側のニーズも少々取り入れています。クラブが主催する教室やイベントは地域住民に好評であり、老若男女を問わず生活の質（QOL）の向上に結びついていますが、今後クラブが永続的に発展していくために、今年度向こう5年間のマスタープランを策定し、足腰の強化につなげていく予定です。

林 良彦（標津スポーツクラブ「すぽっと」理事）

【標津スポーツクラブ「すぽっと」プロフィール】

1. 設立

設立年：平成19年2月

経緯：（財）日本体育協会の育成指定クラブ委託事業を2年間受け設立

2. 地域

人口：5,810人

特性：海・山・川・大地を有し「リトル北海道」と称される大自然の地域

3. クラブ

会員数：135人

予算規模：490万円

特徴：各年代層や男女別などのバランスが良い

4. 連絡先

〒086-1652 北海道標津郡標津町南2条西4丁目 町総合体育館内

TEL：0153-82-3112 FAX：0153-82-2098

E mail：hayashi_yoshihiko@shibetsutown.jp

HP：<http://www.shibetsutown.jp/sports/spot.html>（7月16日に作成したばかりです）